

墨田区議会

自由民主党会派報

発行
 墨田区議会自由民主党
 墨田区吾妻橋 1-23-20
 発行責任者 坂下 修
 編集責任者 出羽 邦夫

区議会ホームページ
<http://www.city.sumida.tokyo.jp/kugikai/>

第一回定例会開催

(2月13日～3月28日)

平成20年度予算特別委員会開催

(2月25日～3月11日)

自由民主党墨田総支部大会を開催

—活動方針・役員人事等決まる—

総支部長 瀧澤良仁

幹事長 中村光雄

総務会長 西原文隆

政調会長 坂下 修



左から、山崎墨田区長、瀧澤総支部長、松島国土交通副大臣、中村幹事長、山本前支部長、保坂前参議院議員夫人

新タワー関連まちづくり予算

平成20年度予算特別委員会

(2月25日～3月11日)

委員長 沖山 仁
委員 瀧澤良仁・坂下修・木内清・田中邦友・山本亨・福田はるみ

田中邦友委員が20年度予算に対する意見開陳(概要)

墨田区議会自由民主党を代表し、平成20年度の墨田区一般会計予算、国民健康保険特別会計予算、老人保健医療特別会計予算、介護保険特別会計予算、後期高齢者医療特別会計予算の各案について意見を述べる。



中村光雄議長・沖山 仁委員長・深野事務局長

山崎区長にとって、再選後はじめての予算編成である平成20年度予算は、基本計画の着実な推進と、区民が抱える課題に応える姿勢が伝わる積極型予算と理解するが、今後の事業展開を図る上で、特に次の四点についてふれる。

一、都区のあり方検討会について

来年度中には、一定の方向性を取りまとめる予定と聞いているが、区側としては、「平成十二年改革」による都区の役割分担、財源配分の原則を実現し、

その上で各区が自主的に区域問題に取り組みことが筋であり、都側の「二三区再編先ありき」の主張に屈することなく、区長は全力で立ち向かって欲しい。

二、新タワー関連整備事業について

本区にとっては歴史的とも言える新タワー建設がスタートするが、これに並行し、正に墨田区の命運をかけた「国際観光都市すみだ」を目指した様々な事業が本格化する。今後、確実に増えていく事業経費を考えると、一般施策に影響を与えないで財源をいかに確保するか。本区の財政基盤は脆弱で、基金残高は二三区中一番低く、経常収支比率も一番高い状況にあり、国のまちづくり交付金や都区の財政調整交付金の獲得いかに、この事業の成否がかかっている。私どもも全面的に協力するが、区長には、財政通の強みを最大限に発揮され、財源確保に全力をあげていただき、一般施策に影響のない範囲で、出来るだけ基金の積立を着実に実行されたい。

北京館、環境ふれあい館などの施設



新タワーの景観 (東武鉄道(株)提供)

整備にあたっては、区民の理解を得られるよう十分な説明を心がけ、「区民の目線」を意識した環境への配慮や管理運営など、時代要請にしっかり応えられる整備を望む。

三、曳舟駅周辺地区整備に伴う統合新図書館について

保留床の取得のあり方から債務負担行為の法解釈まで、質疑は多岐に及んだが、今後は、議会と十分協議を望む。

四、少子高齢化対策について

墨田区の将来を担う子どもたちにとって、保育所の待機児童の解消は待ったなしの状況にあり、あらゆる手立てを講じ、情報発信も含めて20年度の早い時期の改善を強く求める。同様に特別養護老人ホームの待機者増、障害者施策の更なる充実も合わせて、改善に向けた真剣な取り組みを求めておく。

五、平成20年度一般会計予算等について

区民の負担感が増す中、我が会派は、本予算の中で負担感の軽減に一定の配

慮がなされている点は評価するが、前述した他に、我が会派委員が提案した様々な発言についても、今後の区政運営に十分反映されることを望み、20年度各会計予算に対する我が会派の立場を表明する。

平成20年度一般会計予算については公明党、民主党の賛同を賜り、「統合新図書館整備事業に係わる債務負担行為について、議会において十分な審査を行うためには限度額の金額を明記すべきであり、早急に事業の全体像を明らかにするとともに、限度額の金額を明記した債務負担行為の補正を行うこと。また、今後限度額の金額表示が困難な債務負担行為については法の趣旨に則り適切な判断を行うこととし、併せて議会に対して十分な説明を行うこと。」との付帯決議をつけて賛成する。

国民健康保険特別会計予算他三件についても賛成する。

予算の執行にあたって、行政の主体である職員は区長の言う「予見力」に磨きをかけ、二十四万区民の暮らしの安定向上のために、なお一層の努力をされるよう期待し私の意見開陳とする。



意見を開陳する田中邦友委員

自民党墨田総支部定期大会

活動方針、役員人事等を決める

一月二十九日、自由民主党墨田総支部は定期大会を開催し、本年度の活動方針、役員人事を決定し、次の宣言を採択しました。

宣言

我が党墨田総支部は、昨年の立党以来の危機を乗り越え、党の再生に不転の決意を取り組み、衆議院の解散が取りざたされる中で、来年の東京都議会議員選挙も視野に入れて、これらの選挙に勝ち抜くために努力することを、ここに宣言する。

このことは、区民の安心と期待・夢を実現する原動力となるし、また、選挙に出馬する者の使命でもあります。党員と候補者が強い絆で結ばれ、共に連帯して闘いを進めれば、必ず、区民の共感と信頼を勝ち得ると思えます。

今、世の中は政治に対する不安と不満が充満し、不信感が増幅しているのが現状です。このことは、特に我が党所属議員集団に猛省を促している。真摯に受け止めて、我々は大いなる反省の上にたつて、今後の行動にしっかりと努めていかなければならないと思えます。

我々は、この平成二十年を総支部再生のスタートとして、区民が安全、安心で夢と希望に満ちた生活ができるよう、また、清々しく、明るく、楽しく暮らせるような墨田区を築くために、全力で頑張ろう。

今年、墨田の明るいニュースとして、押上・業平地区に新タワーの建設が着手される。これを起爆剤として、わがまち墨田が将来に向けて夢と希望が満ちてくる故郷として、明るい展望の開ける墨田区づくりとして、区民が生き生きと暮らせる街として再生できるかは、我が自由民主党墨田総支部の責務との自覚の基に、全力で取り組むことが区民の期待と信頼に応える道であると確信し、右宣言する。

第1回定例会での質問概要

(平成20年2月13日~3月28日)

代表質問



坂下 修

◆平成20年度予算案に関連して

①基本的考え方と財政収支見通しについて

問 平成二十年度の各会計予算案は総額で一千四百三十三億三千四百万円、うち一般会計は九百五十六億九千五百万円、うち七割増と三年連続の伸びを見せている。大変厳しい経済状況の中で、墨田区基本計画の実現に向けた積極的な施策の展開と、区民生活が直面する課題に取り組み姿勢が示されたものと評価をするが、予算に対する区長の考え方を伺う。

答 予算編成にあたっては、基本計画事業を着実に実施することをはじめ、新タワー関連事業の推進、安全・安心・環境対策、少子高齢化対策など喫緊の課題にも的確に対応する積極的予算として編成した。新タワー関連事業の拡大をはじめ、様々な行政需要への対応も求められ、更なる財政基盤の確立と安定を図るため、今後とも積極的に財政改革に取り組みたい。

問 本区の基本的収入である特別区財政調整交付金は、二十年度予算においてはどのような積算をしたか。

答 今年度においては、当初見込みで多額の算定割れが生じ、再調整による追加算定でもその算定割れを補うことができず八億円の減額補正という結果になった。二十年度の当初予算額においては再びこのような事態が生じないよう、原因を分析し精度を高めるべく情報の収集に努め、慎重に積算した。

問 新タワー関連予算として、現在、二〇一五年までに百三十三億三千六百億円の支出が見込まれる。その後、押上二号踏切の高架化など発生する事業を考慮すると、それ以上の支出が見込まれる。区長は、財源は、財源として、まちづくり交付金、公共施設整備基金からの繰入と起債で対応するとしているが、公共施設基金の今後の積立見直しについてどのように考えているか。

答 新タワーに関連する施設整備の財源は、国庫支出金のまちづくり交付金を見込み、さらに公共施設整備基金及び起債の活用を予定しているが、これは他の一般施策に影響が出ることを極力避けるために、財政の年度間調整を行うものである。起債についても、後年度負担に十分配慮して活用を図り、都市計画交付金対象事業のうち起債充当分に対する財政調整措置については、これを減債基金に積立、将来の償還財源に充当していく。

②道路特定財源について

問 道路特定財源は、今年の三月で期限切れとなるため、政府は暫定税率を維持するための法案を今国会で審議中であるが、地方にとても財政上の根拠をなす財源であり、制度維持を求める声も高まっている。墨田区においても重大な影響を及ぼすものと考えているが、区長の見解はどうか。

答 暫定税率が廃止された場合の本区の影響額としては、地方税分として交付される自動車重量税と、道路特別会計を通じて交付される地方道路整備臨時交付金として曳舟再開発事業等を合わせて約十億三千万円となる。万一、暫定税率が廃止され、その補填対策がなされない想定の場合には、当初見込んだ収入が減少することになり、道路整備をはじめ様々な面で財政運営に及ぼす影響が生じることになる。結果として、歳入予算を財源更正するか、その対応がとれない場合は同額の歳出予算の減額をすることになり、それぞれの事業の執行を凍結することになると考えている。

③新タワー関連事業について

問 具体化する関連事業費として六億七千万円が計上されている。これはタワー周辺主要道路の景観整備、北十間川水辺空間の整備、区内循環バス導入に向けた調査など、本予算の目玉と呼ばれる事業の具体化に向けた調査検討が主眼の計上と受け止めているが、地元住民及び区民の意見をどのように反映されるか伺う。

答 大きなプロジェクトであるだけに地域の方々の意見や要望を十分に伺い、現在、それぞれの関連事業についての基本的な

考えを取りまとめている。計画案がまとまり次第に、新タワー建設推進協議会、押上工業平橋地区新タワー関連まちづくり協議会に報告し、地元の方々の意見を聞き、計画に反映していきたい。

問 周辺道路の景観事業についても、沿道の方々とは密接な関わりがあることから、地域の意見を踏まえて関係管理者との協議に臨んでいく。

④北斎館について

問 北斎館建設に関する地元合意や旧北斎館用地利用についての合意もとれているのか。特に、テラコート廃止に伴う代替コート設置の具体案はあるのか。

答 また、建設費もさることながら、今後、美術館としての高い水準を維持するためには多額の経費が毎年必要となるが、どの程度の維持管理費を要するのか。

問 北斎館建設予定地の立地環境調査を行うこと、昨年九月、所管の委員会に報告し、概ね理解をいただける状況と判断している。代替のテラコートについては現在用地の検討を行っており、まともな関係団体に具体案を提示した。

⑤新タワーに関する波及効果について

問 タワー建設特別委員会、建設総合効果一、千四百九十七億円、開業後の来場者消費効果八百八十億円と発表されたが、これを墨田区経済にいかん反映できるかが問題だ。新タワー建設に墨田区内の業者がどの程度関与できるのか、また、商業施設の方角性については区内業者にも大きな影響が考えられるが、区長として新東京タワーに働きかける考えはあるか。

答 また、北十間川の人道橋をもう一本増やしたいとの区民の強い要望があり、近隣の商店街活性化のためにも必要と考えるが、区長の所見を伺う。

問 新タワーを施工する大林組や押上業平橋駅周辺土地画整理組合に区内関連業者活用の要請を行ったところだが、今後も多くの区内業者が参加できるように努めたい。

答 人道橋については、基盤整備を実施する東京都とも具体的な協議を進めてきたが、もう一本増設するとなるとその実現は極めて困難であ

り、可能性は今後の検討課題とさせていきたい。

⑥新図書館について

問 あずま図書館と寺島図書館を統合した新図書館を整備する実施予算案が計上されたが、今後、新図書館として整備していくには様々な工夫が必要であり、特に二階から五階の一体的確保、各階層に分かれる人員配置などによる無駄、全体が見通せない状況などをどのように管理していくか伺いたい。

答 (教育長答弁) 統合図書館は、立地の優位性は高いものの、施設の形状や二階から五階の四層に分かれる施設上の制約があることは認識しており、快速性や効率性、安全性を最大限確保できるように内部で検討を進めている。職員配置にも十分留意し、利用者への対応や安全確保に努めたいと考えているので、ご理解をいただきたい。

問 「京成曳舟駅南第二南地区第一種市街地再開発事業」における設備建築物の一部を購入することになるが、予算案の債務負担行為には金額が計上されていない。取得金額が定まらない現在、債務負担行為を行う理由は、開発事業組合との取得予約を履行するものと考えられるが、購入価格ほどの程度を予定し、その決定方法はどのような機関が査定を行うのか。多額の税金が投入されるのだから、議会でも事前に報告していただき十分な議論を願いたい。

答 購入予定価格は専門家である不動産鑑定士、建築士、再開発コンサルタントが見積もっており、床取得費が二十一億円、十年割賦取得のため利子相当額約三億三千万円、合わせて二十四億三千万円程度を想定しており、来年に予定されている権利変換計画には複数の不動産鑑定士による土地の鑑定を行うなどより詳細な床取得費を算定する。購入金額決定については、墨田区財産価格審査会に諮問して決定する。今後の再開発事業の区施設導入に関しては、計画段階から協議に報告し意見をいただきながら進めていきたいと考えている。

⑦子育て支援と保育園待機児童解消策について

問 子どもサポートセンター、在宅子育てママ、緊急ショートサポートの実施、妊婦検診の公費負担充実など様々な子育て支援施策が実施されることは評価するが、昨年末現在で約四百人の待機児童があり、わが党も、待機児童解消策充実の緊急要望を区長に提出した。高齢者施設との合案を含めれば地元の理解も得られ、認可保育園の定員増が図れるのではないかと

答 待機児童解消の取り組みにあたっては、地域特性を踏まえた保育ニーズの分析を行った上で具体的な対策を立てていくが、当面の対応としては、平成二十一年に改定予定の墨田区次世代育成支援行動計画のうち、保育園等のサービスマッチングの検討を前倒して行い、実現可能なものから速やかに着手していく。待機児童解消策は喫緊の課題であることから、新たに子育て支援に係わる専門組織を設け、早期に計画を整え実施可能なものから着手したいと考えている。

⑧総合体育館計画と錦糸公園野球場について

問 PFI方式による総合体育館建設が、よい着工されるが、体育館利用の区民、各種団体は、長年の夢であった新体育館の完成に期待を寄せている。そこで、利用手続きについて、今後どのような協定を策定するのか利用形態を含めた基本的な考えを伺う。また、新総合体育館建設着手に伴い野球場の使用ができなくなるが、新しい野球場の確保はできないか。新しい野球場は、現在の体育館跡地に作るか。人工芝で観客席を設け、各種の大会にも使用できる本格的な野球場にしたという声もある。どのように受け止めておられるか。

答 利用団体と区民の利用調整については、墨田区総合体育館の管理運営に関する条例で利用承認権限を指定管理者に委ねている。しかし、PFI事業者との事業契約において区民体育祭、区民体育大会等の区の利用については、調整及び利用形態については区のコントロールが及ぶことになる。また、日曜日の利用については、想定としては区大会や体育協会加盟団体の大会で五、六割程度、残りの枠を事業者の興行イベントと区民抽選枠に半分ずつ割り当てられるよう調整していきたい。

問 野球場の代替地としては、現在東京都と協議し、旧田沼高校グラウンドを活用する方向で調整している。また、都立の猿江恩師公園、篠崎公園、舎人公園の野球場などを優先的に借りられる内諾を得ている。錦糸公園の野球場改築は平成二十二年四月から着工するが、多目的に利用できる本格的な人工芝の野球場を検討している。利用者や関係団体の意見や要望も伺い実施設計、施設整備計画に反映させていく考えだ。

松島みどり国土交通副大臣と共に東武鉄道(株)へ新タワーと二号踏切の問題で直接交渉を行いました。

構想から行動へ!! すみだ自民党

平成20年度の予算も決定し、本区にとつて歴史的とも言える新タワー建設に伴う関連整備事業、曳舟駅周辺地区整備、少子高齢化対策をはじめとした、「明日のすみだ」実現を目指した諸事業に積極的に取り組んでまいります。

区民の皆様のご意見ご要望を、お近くの自由民主党会派議員にお寄せください。

中村 光雄
両国4-7-10-403
363217870



- 墨田区議会議長
- 地域都市委員会委員
- 都市開発・災害対策特別委員会委員
- 防災会議をはじめ各付属機関等委員
- 墨田区土地開発をはじめ各公社等理事

西原 文隆
押上1-25-5
362219570



- 福祉保健委員会委員長
- 新タワー建設・観光対策特別委員会委員
- 民生委員推薦会委員
- 都市計画審議会委員
- 墨田まちづくり公社評議員

瀧澤 良仁
墨田5-33-4
361114003



- 区民文教委員会委員
- 新タワー建設・観光対策特別委員会委員長
- 民生委員推薦会委員
- 都市計画審議会委員
- 墨田まちづくり公社評議員

出羽 邦夫
八広4-11-19
361615834



- 区民文教委員会委員
- 新タワー建設・観光対策特別委員会副委員長
- 墨田区情報公開制度及び個人情報保護制度運営審議会委員
- 国民健康保険運営協議会委員
- 墨田まちづくり公社評議員

木内 清
本所2-9-5
362418235



- 企画総務委員会委員長
- 議会運営委員会委員
- 新タワー建設・観光対策特別委員会委員
- 都市計画審議会委員
- 墨田まちづくり公社評議員
- 墨田区社会福祉事業団評議員

坂下 修
向島3-18-10
363217870



- 企画総務委員会委員
- 議会運営委員会委員長
- 新タワー建設・観光対策特別委員会委員
- 都市計画審議会委員
- 墨田まちづくり公社評議員
- 墨田区社会福祉事業団評議員

中沢 進
提通1-5-9
361110740



- 地域都市委員会委員長
- 行財政改革等特別委員会委員
- 優秀技能者選考委員会委員
- 都市計画審議会委員
- 環境審議会委員

桜井 浩之
立花5-28-3
レジデンス石原210
563117757



- 墨田区議会副議長
- 企画総務委員会委員
- 行財政改革等特別委員会委員
- 防災会議をはじめ各付属機関等委員
- 墨田区土地開発をはじめ各公社等理事

林 恒雄
江東橋1-8-7
363111934



- 福祉保健委員会委員
- 都市開発・災害対策特別委員会副委員長
- 墨田区社会福祉事業団評議員
- 障害者施策推進協議会委員

沖山 仁
京島1-39-1-918
361611050



- 地域都市委員会副委員長
- 議会運営委員会委員
- 行財政改革等特別委員会委員
- 優秀技能者選考委員会委員
- 環境審議会委員
- 墨田区社会福祉事業団評議員

田中 邦友
八広1-39-17
361617014



- 福祉保健委員会委員
- 行財政改革等特別委員会委員
- 都市計画審議会委員
- 墨田まちづくり公社評議員
- 墨田区文化振興財団評議員

編集後記

議会では、四月から始まる平成二十年度へ向け、予算編成、条例の整備、新基本計画の初年度対応と、忙しい年度末でありました。本年度の予算委員会は「新タワー予算」と呼ばれるほどタワー関連予算が主であり、タワーを起爆剤に、まちづくり、産業・観光、商店街の振興など、幅広い注文と将来展望について議論が展開されましたが、区民生活に直接関わる保育園待機児童問題や医療・福祉関連についても、我が会派は真剣に取り組み、主張を通させていたいただいた議会でもありました。(出羽邦夫記)

福田はるみ
業平4-5-16
362518139



- 地域都市委員会委員
- 行財政改革等特別委員会委員
- 障害者施策推進協議会委員
- 青少年問題協議会委員

山本 亨
向島5-42-3
362210010



- 区民文教委員会委員
- 都市開発・災害対策特別委員会委員
- 消防団運営委員会委員
- 墨田区社会福祉事業団評議員

樋口 敏郎
八広3-6-3
361714129



- 区民文教委員会委員長
- 議会運営委員会委員
- 都市開発・災害対策特別委員会委員
- 国民健康保険運営協議会委員
- 学童災害共済審査会委員
- 墨田区社会福祉事業団評議員